

- ・世界186か国・地域からなる税関関連の国際機関。1952年に設立（日本は1964年に加入）。
- ・各国の税関制度の調和・統一及び国際協力の推進により、国際貿易の発展に貢献することを目的。
- ・HS条約等の国際標準の策定、密輸・テロ対策の推進、税関分野の技術協力等を実施。

事務局概要

- 本部：ブリュッセル（ベルギー）
- 事務総局長：米国イアン・サンダース氏
（任期：2024年1月～2028年12月）
- アジア大洋州（AP）地域における主な地域組織
キャパシティビルディング地域事務所（ROCB・AP）：バンコク（所長：我が国職員）
地域情報連絡事務所（RILO・AP）：東京（所長：我が国職員）
地域研修センター（RTC）：税関研修所（柏市）ほか
地域税関分析所（RCL）：関税中央分析所（柏市）ほか
地域犬訓練センター（RDTC）：豪州、香港 ほか



我が国の貢献

- 21名の職員（うち本部に13名）を派遣し、事務局における政策立案・実施に大きく貢献。
- 分担金：第3位（約5.68%、2024/2025年度）
関税協力基金（技術協力）：第1位の拠出（約21.3%、2022/2023年度）
- WCOの運営や税関手続等に係る議論に積極的に参画。税関の国際標準の策定等に貢献。